

【平氏の滅亡と鎌倉幕府の成立】主に（ ）時代

①平氏の繁栄と滅亡



1156年 保元の乱 … 天皇家の争いの中で武士が活躍する。

1159年 （ ）の乱 … 平氏が源氏との戦いに勝つ。

1167年 （ ）が武士で初めて太政大臣となる。

・平氏は武士でありながら（ ）的な政治を行ったため、平氏以外の武士に不満がたまっていた。

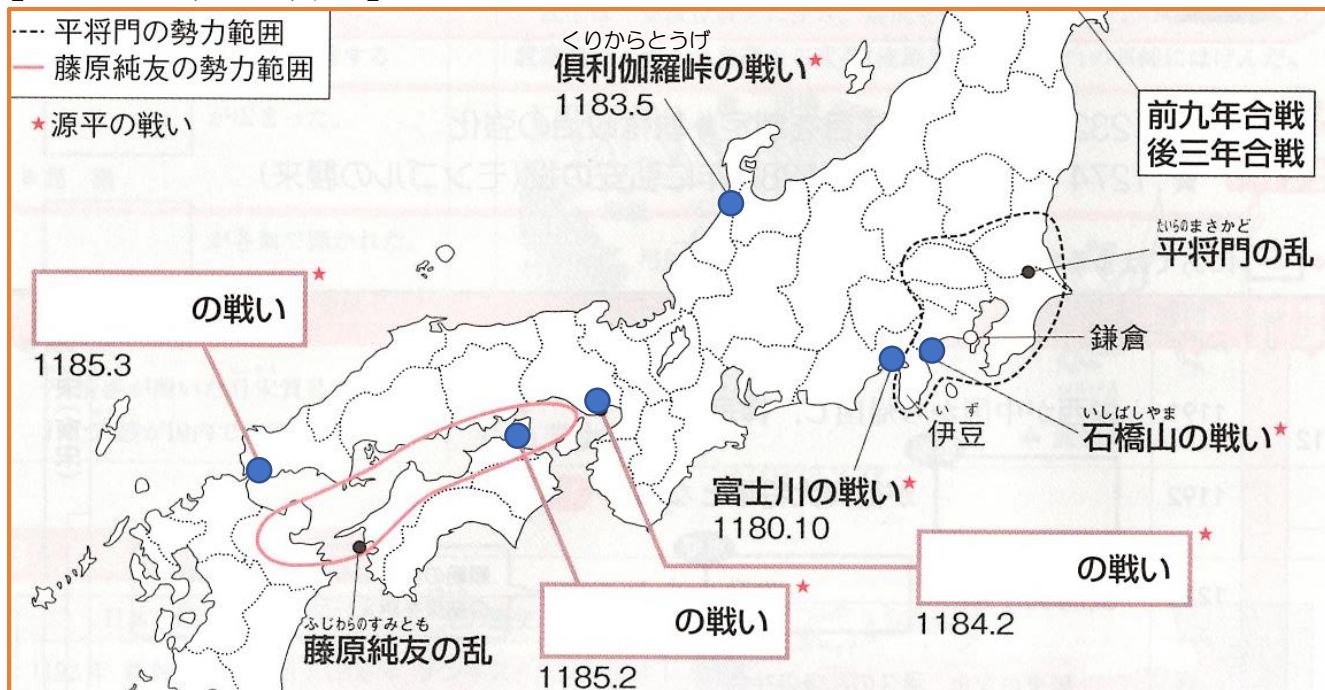
（例）（ ）貿易で大儲け、全国に500の荘園を持つ。

平時忠の言葉「平氏にあらずんば（ ）に非ず」

1180年 伊豆で（ ）が挙兵し、源平合戦が始まる。



【武士が活躍した舞台】



②この時代の重要人物

			
()	()	()	()
武士として初めて太政大臣に任命される。日宋貿易で財政基盤を整えた。	「打倒平氏」を掲げて挙兵。合戦後は征夷大将軍に任命され、鎌倉幕府を開いた。	幼名を牛若丸。頼朝の異母弟で源平合戦最大の功績をあげる。「判官びいき」の語源となる。	頼朝の妻。頼朝亡き後は鎌倉幕府の実権を握り、「尼将軍」と呼ばれた。

【 北条氏の台頭と執権政治 】 主に () 時代前半



①源氏の3代

1. 源頼朝

1185年・3月 壇ノ浦で () を滅ぼす

1185年・4月 全国に守護と地頭を設置

現代の () に近い仕事 軍隊や () に近い仕事+徴税

1185年・6月 弟の源 () を追放

1192年 () 大將軍に任命される

2. 源頼家

は幽閉の後に暗殺、 3. 源実朝 は甥に暗殺される。

②北条氏による執権政治

1203年 1 北条時政 が源実朝の () となる

1221年 2 北条義時の執権時代に () の乱が起こる

ばらばらになりかけた関東の武士をまとめたのが源頼朝の妻、
北条 () 。「 () の恩は山よりも高く、海よりも深い」

1232年 3 北条泰時 が「 () 式目」を制定する。

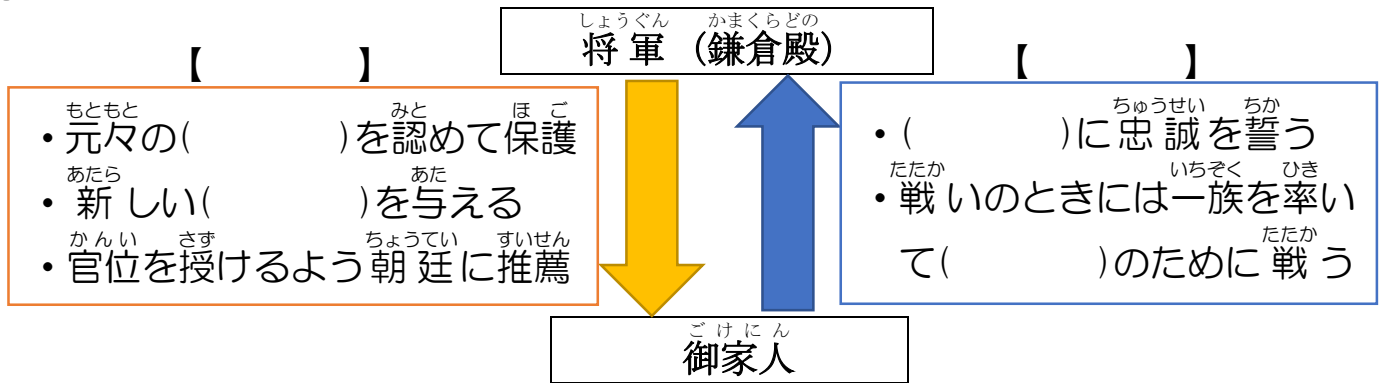
源 () 以来の先例や、道理と呼ばれた武家社会での
慣習や道徳をもとに制定された、武家政権のための法令 (ほうれい)

③この時代の重要人物

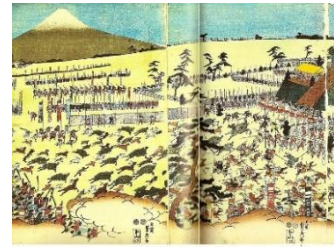
()	()	()	()
「打倒平氏」を掲げて挙兵。合戦後は征夷大將軍に任命され、鎌倉幕府を開いた。	頼朝の妻。頼朝亡き後は鎌倉幕府の実権を握り、「尼將軍」と呼ばれた。	北条政子の父で、鎌倉幕府の初代執権 (しゅげん)。流罪人であった頼朝を後援した。	第3代執権。北条家の中興の祖として、御成敗式目 (ごせいはいしきもく) を制定。

【 封建制度と武士の生活 】 主に () 時代後半

①ご恩と奉公



②武士の生活

			
()	()	()	()
しっそう うま うえ 疾走する馬の上から、 ゆみや まと 弓矢で3つの的をねらう	しっそう うま うえ 疾走する馬の上から、 弓矢で的をねらう	えもの み た いぬ 獲物に見立てた犬 お つ を追い詰め、弓矢でねらう	ひろ げん や しゅうだん 広い原野で集団で とり けもの お つ 鳥や獣を追い詰め、 弓矢で射る

②鎌倉執権16代

1. 北条 () → 2. 北条義時 → 3. 北条 ()
- 4. 北条経時 → 5. 北条時頼 → 6. 北条長時 → 7. 北条政村
- 8. 北条 () → 9. 北条貞時 → 10. 北条師時 11. 北条宗宣
12. 北条熙時 13. 北条基時 14. 北条高時 15. 北条貞顕 16. 北条守時

1274年 () の役	※蒙古襲来、または () と呼ぶ。 蒙古 = () 帝国のこと。 とうじ こうてい だい 当時の皇帝は第5代 () = ()。	1281年 () の役

※当時の第8代執権北条時宗は二度の元寇を退けた。(() のおかげ?)

しかし、外国から攻めてきた敵を倒しても、新しい領地は増えない。

がんば ぶし () を与えることが出来ない。

↑

鎌倉幕府への不満が高まる。この後、どんどん幕府の力が () まる。

【 () 時代の生活と文化 】 おも 主に () 時代全般

① 農業の発展

- ・二毛作の普及 …… 初夏～初秋に掛けて () を作り、残りの時期で他の作物を作ることを。
- ・ () の使用 …… 弱った土地の力を補う。
- ・ () 製農具の使用や () ・馬による農耕。

収穫量が () 、
貧富 の 差が
() くなる。

② 経済の発展と徳政令

- ・ () 経済の普及 …… () との貿易で得た硬貨 (宋銭) が日本で流通するようになった。
- ・ 分割相続による [] の細分化 …… 昔は女子を含めた全ての子どもが相続していた。

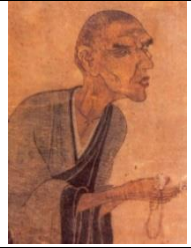
ここでびっくり！

★ [] はあっても金はない、その [] すら少なくなった御家人たちを救うため、『徳政令』が出される。

① やり直し裁判の禁止、② 御家人が売った [] は御家人に返す。③ 借金を全額 () にする。

③ 鎌倉文化 …… 中心地は鎌倉と京都。 () 教の影響が大きい。

【 仏教 】

					
	しんらん 親鸞	いっぺん 一遍			
じょうどしゅう 浄土宗	じょうどしん 浄土真宗 いっこう (一向宗)	じしゅう 時宗	にちれん 日蓮宗 ほっけ (法華宗)	りんざい 臨済宗	そうとう 曹洞宗

【 建築 】



() 寺南大門

宋から伝えられた
天竺様で再建された

【 彫刻 】



() 力士像

運慶・快慶親子が制作
した阿形・吽形像

【 文学 】

祇園精舎の鐘の聲、
諸行無常の響きあり。
婆羅双樹の花の色、
盛者必衰の理をあらは(わ)す。
おこれる人も久しからず、
唯春の夜の夢のごとし。
たけき者も遂にはほろびぬ、
偏に風の前の塵に同じ。

() 物語

平家の栄華と没落を
書いた軍記物

【 絵巻物 】



() 上人絵伝

時宗の開祖、一遍の
遊行を描いた絵巻

【 幕府の滅亡と建武の新政 】主に【 時代終盤 】

① 幕府の滅亡

(原因)

- ・ () 氏得宗家に権力が集中
- ・ () 令の失敗
- ・ 二度の () による御家人の疲労
- ・ 天皇の即位と退位に幕府が介入



幕府への不満が高まる

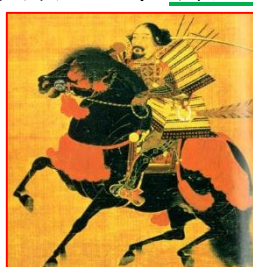


(動き)

- ・ () 天皇による討幕計画
- ・ () が六波羅探題を、新田義貞が () 幕府を襲撃

(結果)

- ・ [] 幕府の滅亡



② 建武の新政

(特徴)

- ・ () 天皇による天皇親政・・・平安時代を理想とする天皇中心の政治
- ・ 幕府・摂政・関白の廃止
- ・ 遡って [] 幕府の決定を覆す命令、 () な恩賞、等々

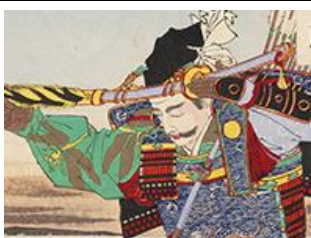
(動き)

- ・ 後醍醐天皇への媚び・へつらい、 () が横行
- ・ () と ()、北朝側皇族らからの不満が爆発

(結果)

- ・ 後醍醐天皇に味方する楠木 () を足利 () が撃破。
- ・ 1333年に始まり、 () 年に崩壊・・・わずか3年間の短期政権

③ この時代の重要人物

			
() 天皇	() 尊氏	() 義貞	() 正成
鎌倉幕府の倒幕を計画。建武の新政崩壊後、南北朝の動乱を起こす。	鎌倉幕府討幕を手伝うも、後に後醍醐天皇に敵対。室町幕府を開く。	討幕のため共に戦った足利尊氏と後に敵対。最期まで南朝側として戦った。	討幕のため共に戦った足利尊氏と後に敵対。湊川の戦いに敗れ自害する。

